

令和元年度(2019年度)

管理事業名	男女共同参画事業				総合計画の体系	大綱 1 人権・市民自治 政策 1 平和と人権を尊重するまちづくり 施策 3 男女共同参画の推進
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務室	(項) 1	総務管理費	(目) 24 男女共同参画費
部局名	市民部	予算執行所属	男女共同参画室、男女共同参画センター (人権政策室)			
予算大事業名 男女共同参画事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)総務費(項)総務管理費(目)ダブルリボンプロジェクト基金積立金 男女共同参画事業					
事業の目的と概要						
【目的】 男女共同参画に関する意識改革を図り、性別に関わらず対等な立場で働き暮らすことができる環境を整えるため、啓発等の取組を行う。 また、DVなどの暴力に悩む市民への相談などを行うとともに、DV防止に向けた啓発などの取組を行う。						
【概要】 主な事業内容は以下のとおり 男女共同参画事業(すいた男女共同参画プラン策定及び年次報告等進捗管理に関する事、市民や市職員に対する意識啓発冊子の作成等に関する事) DV防止対策事業(配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護に関する事、DV相談に関する事、Wリボンプロジェクトに関する事) 男女共同参画センター施設管理事業(施設維持管理に関する事) 男女共同参画センター主催講座等事業(主催講座や講演会の開催等に関する事) 女性のための相談事業(電話相談・女性のための悩み相談・法律相談に関する事)						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
主催講座等参加人数	人	6,126	5,734	4,912	男女共同参画センターの主催講座等における延べ参加者数
DVに関する相談件数	件	644	688	711	DV相談件数
成果の説明	男女共同参画センターでは、男女共同参画社会の実現と女性活躍の推進につながる講座を、139回行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため2月から中止となる講座が増え、前年度より18回(平成29年度138回、平成30年度157回)減り、参加者も前年度より822人減少しました。DV相談による相談件数は年々増加傾向にあります。様々な啓発活動を実施することでDV被害者を発見し、支援につなげることが出来ました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	3,130	3,067	2,695	△372
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	1,381	1,249	1,178	△71
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	0	0	0	△0
その他	617	848	1,365	517
経常収入 小計(a)	5,128	5,164	5,238	74
給与関係費	98,605	96,910	98,599	1,688
物件費	32,047	32,105	34,191	2,086
維持補修費	2,260	24,332	162	△24,169
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	7,160	7,723	7,294	△430
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	11,125	12,126	12,126	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	6,892	6,531	7,246	716
退職手当引当金繰入額	5,131	2,519	5,080	2,561
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	163,219	182,246	164,698	△17,548
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△158,092	△177,082	△159,460	17,622
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	0	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 特別支出 小計(e)	0	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	△0	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△158,092	△177,082	△159,460	17,622
一般財源充当額	167,216	169,788	147,777	△22,011
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	9,124	△7,294	△11,683	△4,389

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館を行ったことによる貸室使用料の372千円の減。
物件費	女と男のフェスタ事業費809千円、電話交換機更新費用735千円、AED更新費用229千円の増。
維持補修費	外壁タイル改修工事費23,378千円の減。

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	5,128	5,164	5,238	74
行政サービス活動支出	154,278	175,286	153,154	△22,132
行政サービス活動収支差額	△149,150	△170,122	△147,916	22,206
投資活動収入	2,000	1,951	2,000	49
投資活動支出	20,065	1,617	1,861	244
投資活動収支差額	△18,065	334	139	△195
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△167,216	△169,788	△147,777	22,011
一般財源充当額	167,216	169,788	147,777	△22,011
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(投資活動収入)
	ダブルリボンプロジェクト基金から2,000千円取崩し、DV防止対策事業の一部に充当しました。

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成29年度	370,072 人	441 円	市民1人あたり年間440円のコストがかかっています。前年度より51円減少しました。(各年度の3月31日現在の吹田市人口で算出しています。)
	平成30年度	371,030 人	491 円	
	令和元年度	373,978 人	440 円	
	平成29年度		円	施設管理事業 維持補修費において大きな修繕が無かったことが主な要因です。
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	6,531	7,246	716
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	6,531	7,246	716
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	289,229	277,111	△12,118	固定負債	69,795	68,498	△1,297
土地	71,593	71,593	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	217,636	205,518	△12,118	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	69,795	68,498	△1,297
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	531	523	△8	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	76,326	75,745	△581
土地	-	-	-	純資産	227,408	215,725	△11,683
建物・工作物	-	-	-	建物・工作物	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	3,000	3,000	-
固定資産	-	-	-	図書館資料	-	-	-
重要物品	3,000	3,000	-	投資その他の資産	10,974	10,836	△139
図書館資料	-	-	-	出資金	-	-	-
投資その他の資産	10,974	10,836	△139	長期貸付金	-	-	-
基金	10,974	10,836	△139	基金	10,974	10,836	△139
徴収不能引当金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
その他債権	-	-	-	その他債権	-	-	-
資産の部合計	303,734	291,469	△12,265	純資産の部合計	227,408	215,725	△11,683
				負債及び純資産の部合計	303,734	291,469	△12,265

Ⅲ 財務構造分析

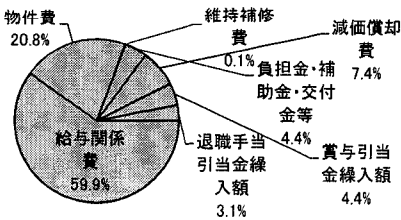
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員	審議会委員等
	月平均	月平均	月平均	年間従事証日数	実人数
	11人	3人		774日	26人
給与関係費等	92,026千円	11,820千円	6,718千円	361千円	合計(千円) 110,925
内、時間外勤務手当	739千円				

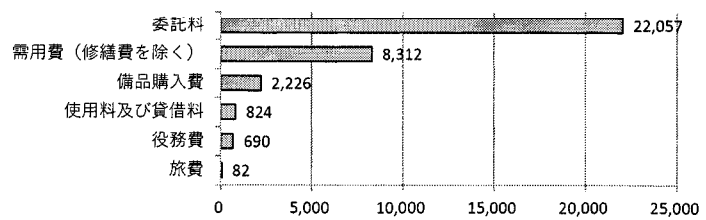
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	男女共同参画センターの建物減価償却により、12,118千円の減。
基金	ダブルリボンプロジェクト基金からDV防止対策事業の一部に充当するため2,000千円の取崩しによる減、指定寄附金、Wリボンパッジ利益分、預金利息、前年度繰戻分の積立による1,861千円の増。取崩し額と積立額の差が139千円減。

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立男女共同参画センター
取得年月日	昭和62年(1987年)5月1日
建物・工作物の取得価額	569,814千円
建物・工作物の減価償却累計額	364,296千円
利用料金収入	2,695千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			
		平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		0.4	4.3	0.0	△ 4.3
施設老朽化比率		59.7	61.8	63.9	2.1
受益者負担比率		1.9	1.7	1.6	△ 0.1
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		95.9	96.0	95.3	△ 0.7
経常費用対公共資産比率		28.6	32.0	28.9	△ 3.1

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常収入の5,238千円の内訳は、2,695千円が男女共同参画センター使用料、1,178千円がダブルリボンプロジェクト基金指定寄附金です。経常経費の主なものにつきましては、給与関係費98,599千円(59.9%)、物件費34,191千円(20.8%)、減価償却費12,126千円(7.4%)となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

ダブルリボンプロジェクト基金は、DVや児童虐待、暴力をなくすために実施している「Wリボンプロジェクト」を地域や企業と連携し、さらに発展させて「暴力のない安心安全なまちづくり」を実現するための財源です。Wリボンパッジの売上金の一部のほか、企業や市民からの協賛による寄附金等も積立しています。令和元年度までは、基金を財源とした事業は啓発活動を主に行ってまいりましたが、令和2年度よりDV被害者への直接支援の充実を図り、男女共同参画センターで行っているDV相談の相談時間と相談枠の拡充、中学校でのデートDV予防啓発講座の実施校数の拡充を予定しています。男女共同参画センターは、男女共同参画推進の拠点施設として、また、市民の活動や交流の場として、大勢の方に利用してもらえるよう貸館業務や多彩な講座、相談事業等を、今後も実施していく必要があります。しかし、老朽化した施設の維持管理に係る維持補修費や施設管理に係る委託料がコスト増加の主な要因になっており、これらの課題については、施設の最適化と併せて検討する必要があります。